

# 令和4年度事業報告

## I 設立目的

本公社は、環境と共生する快適なまちの形成に資するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、もって練馬区の健全な発展と、住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

## II 沿革

### 【団体沿革】

- 昭和62年(1987) 財団法人練馬区都市整備公社設立
- 平成24年(2012) 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に移行

### 【事業沿革】

#### <土地区画整理事業>

- 平成4年(1992) 三原台三丁目土地区画整理組合事務局業務受託(平成8年完了)
- 平成5年(1993) 中里土地区画整理組合事務局業務受託(平成10年完了)
- 平成10年(1998) 三原台二丁目土地区画整理組合事務局業務受託(平成16年完了)

#### <市街地再開発事業>

- 平成5年(1993) 練馬春日町駅西地区市街地再開発組合事務局業務受託(平成9年完了)
- 平成8年(1996) 石神井公園駅北口地区市街地再開発組合事務局業務受託(平成15年完了)

#### <自動車駐車場事業>

- 平成7年(1995) 練馬駅北口地下駐車場管理運営業務受託
  - 平成13年(2001) 大泉学園駅北口駐車場管理運営業務受託
  - 平成14年(2002) 石神井公園駅北口駐車場管理運営業務受託
  - 大泉学園駅南口駐車場管理運営業務受託
- } (平成18年終了・民間委託へ)

#### <市街地整備事業>

- 平成22年(2010) 貫井・富士見台地区、高松・向山地区まちづくり推進事業受託(平成27年完了)

#### <自転車事業>

- 平成元年(1989) ねりまタウンサイクル事業業務受託
- 平成4年(1992) 区立有料自転車駐車場管理運営業務受託
- 平成17年(2005) 自転車集積所管理業務受託
- 平成18年(2006) 区立自転車駐車場等指定管理受託
- 放置自転車対策事業受託、自転車問い合わせセンター開設
- 平成23年(2011) 公社立自転車駐車場開設
- 平成29年(2017) 自転車駐車場利用者サービス事業開始(収益事業)

#### <まちづくり・普及啓発事業>

- 平成18年(2006) 練馬まちづくりセンター開設(平成28年みどりのまちづくりセンターに改称)
- 平成23年(2011) 景観整備機構指定、練馬区景観形成支援事業受託
- 平成28年(2016) みどり事業受託
- 平成29年(2017) 空家地域貢献事業受託
- 令和2年(2020) 防災まちづくり事業受託

#### <資源循環推進事業>

- 平成22年(2010) 練馬区資源循環センター管理運営業務受託
- 資源回収事業受託(収益事業)
- 平成27年(2015) 可燃ごみ・不燃ごみ収集業務受託
- 令和2年(2020) 蛍光管資源化事業受託
- 令和4年(2022) 不燃ごみ資源化事業受託

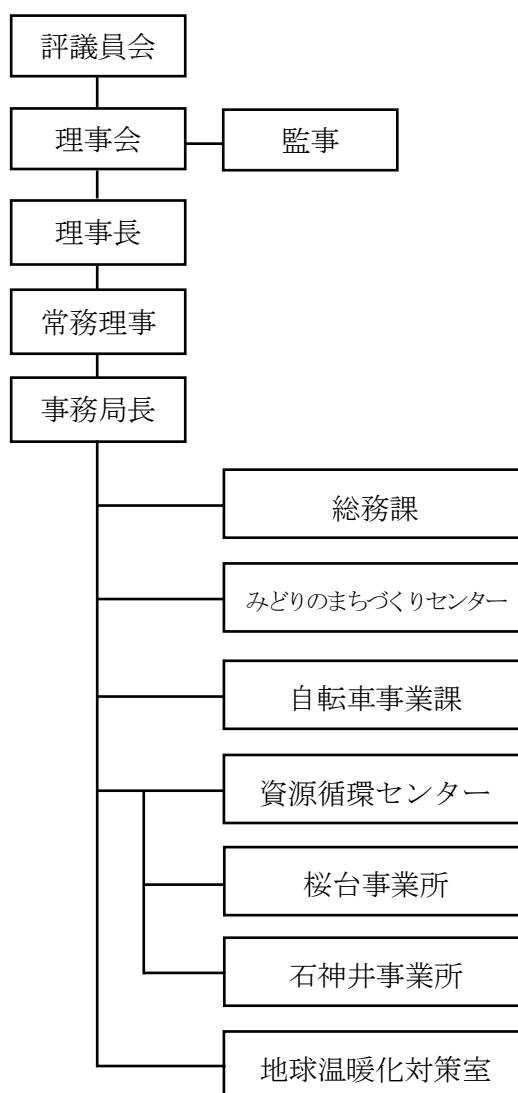
#### <温暖化対策事業>

- 平成22年(2010) 練馬区地球温暖化対策地域協議会事務局業務受託

### Ⅲ 基本財産

2億円（全額練馬区からの出資金）

### Ⅳ 組織・社員数（令和5年3月31日現在）



評議員 7名

役員 16名（理事長1名、常務理事2名、常勤理事1名、非常勤理事10名、  
監事2名）

社員数 371名

## V 事業目的

本社は、練馬区の行政を補完して、環境と共生する快適なまちを実現するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、住民福祉の向上に貢献していく。

これらの目的を達成するために、

- (1) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査研究およびその成果の普及
- (2) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発
- (3) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助
- (4) 練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援
- (5) 区と協働して取り組む、まちづくりの企画、立案および推進に関する事業
- (6) 自転車等の適正利用に関する事業
- (7) 資源循環の推進に関する事業
- (8) 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業
- (9) 地球温暖化の防止対策に関する事業
- (10) その他公社の目的を達成するために必要な事業

を実施している。

令和4年度における各事業の実施状況について、以下にその概要を報告する。

## VI 事業報告

### 1 みどりのまちづくりセンター事業〔定款第4条第1項第1～3号〕

#### (1) みどり・景観事業の推進

##### ① 憩いの森等の区民管理活動の支援

憩いの森等を保全・活用する区民団体の拡充に向けて、管理活動を希望する団体を支援し、区との管理運営委託契約につなげた。令和4年度は、新たに3か所の憩いの森で区民管理活動が開始され、7か所の憩いの森等において活動団体の支援を行った。また、活動の充実化のため、センターの支援内容をまとめたガイドラインを作成・配付した。

##### 1) 和田前憩いの森

「練馬植樹推進会」による区との管理運営委託契約に向け、管理運営活動の計画づくり等を支援した。

項目	内容
活動立ち会い	活動意向の把握、区との管理運営委託契約に向けた管理内容等の調整・支援、契約後（11月）の側面支援
専門家派遣	樹木調査実施（11/11）

##### 2) 千坪憩いの森

「隠れ家つながり隊」による区との管理運営委託契約に向け、管理運営活動の計画づくり等を支援した。

項目	内容
活動立ち会い	活動意向の把握、区との管理運営委託契約に向けた管理内容等の調整・支援、契約後（11月）の側面支援

##### 3) 中ノ宮竹林憩いの森

「クモリン緑化花の会」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
活動立ち会い	契約後（4月）の側面支援 安全管理確認、活動状況の確認・アドバイス
啓発支援	ホームページ掲載支援

##### 4) 西本村憩いの森

「西本村憩いの森ファンクラブ」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
活動立ち会い	安全管理確認、活動状況の確認・アドバイス
専門家派遣	専門家による樹木ガイドツアー（10/22） 団体による自主専門家派遣への講師調整（セミの羽化観察会）

啓発支援	ホームページ掲載支援 地域連携イベントの側面支援（6/26「大泉ファーマーズマーケット」〈主催：Best Dishes!〉）
------	---

#### 5) 大関山の森緑地

「大関山森もりクラブ」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
活動立ち会い	安全管理確認、活動状況の確認・アドバイス
専門家派遣	センター社員による剪定技術指導（6/8、3/1）
啓発支援	ホームページ掲載支援 イベントの側面支援（11/3「秋のフェア2022」）

#### 6) 南高松憩いの森

「南高松森もりファンクラブ」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
活動立ち会い	安全管理確認、活動状況の確認・アドバイス
専門家派遣	専門家による苔のお手入れ相談会（11/26） 団体による自主専門家派遣への講師調整（セミの羽化観察会）
啓発支援	活動通信「森もりファンクラブ通信」の広報支援 ホームページ掲載支援 地域連携イベントの側面支援

#### 7) うめのき憩いの森

「北西うめのき会」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
活動立ち会い	安全管理確認、活動状況の確認・アドバイス
専門家派遣	団体による自主専門家派遣への講師調整（セミの羽化観察会）

#### 8) 憩いの森等管理団体拡充のための新規団体掘り起こし

令和5年度以降の管理団体を募集するためのチラシを区立施設等へ配布し、新規団体の掘り起こしを図った。管理活動に興味を持つ団体「More Timeねりま」へ区と連携して事業を案内し、高松しいのき憩いの森での令和5年度からの管理契約に向けた調整を行った。

#### ② 地域ぐるみのみどり保全活動の普及

民有樹林地の維持管理を地域住民が支え、地域ぐるみでみどりを守り育てる取組を拡充するため、区民協働で落ち葉を清掃する取組を試行した。

項目	内容
落ち葉清掃活動の実施	中村・関町北・立野町の民有保護樹林と、谷原・石神井町・豊玉中の保護樹木の落ち葉清掃を実施 (清掃回数 22 回、のべ参加者数 218 名、回収落ち葉量 23,0250 (450ゴミ袋換算約 512 袋分))
落ち葉清掃活動の検証	参加者・協力団体・活動場所オーナーへのアンケート実施
事業啓発	落ち葉掃きボランティア通信作成・配布

### ③ つながるカレッジねりま「みどり分野」の運営

「コミュニティ・ガーデナーコース」2期目の講座を運営した。受講生に区民協働花壇の活動情報を提供するとともに、現場見学を調整する等、卒業後の活動への橋渡しを行った。また、令和5年度の3期目からセンター社員が講師を務めるため、講座資料等の検討および作成を行った。

「ねりまの森維持管理コース」は、1期目の講座を運営した。令和5年度の2期目に向けた、カリキュラムの検討・作成、講師の調整を行った。

項目	内容
コミュニティ・ガーデナーコース	講座運営（全受講生 19 名が修了） 19 名中、5 名が新規の区民協働花壇団体を立ち上げ、12 名が既存の花壇団体に入会 令和5年度に向けての講座資料等の準備
ねりまの森維持管理コース	講師調整・講座運営（樹木専攻 13 名〈15 名中〉： 草地専攻 7 名〈9 名中〉が修了）

### ④ みどりを守り育てる人材の登録・紹介

みどりを育むムーブメントの輪を広げるため、みどり活動に関心のある区民をボランティアとして登録し、活動団体に紹介する仕組み「練馬みどりの人材バンク」を運営した。

登録状況：個人ボランティア 134 名、登録団体 25 団体

ボランティアと団体のマッチング：54 件

情報発信：メールマガジン発行（月 1 回、臨時号含め 17 回発行）

### ⑤ 景観形成支援

これまでの景観形成支援事業および公社が担っている景観整備機構としての取組の検証を行い、今後の事業計画を検討した。併せて、啓発動画を公開したほか、イベント等の実施により景観まちづくりの普及啓発に取り組んだ。また、景観整備機構の取組として、練馬区内で研究を行う大学等の活動を支援し、報告会を実施した。

項目	内容
景観形成支援事業の検証および実施計画の作成	これまでの取組整理、事業の目的・方向性の検討、見直しのための検討課題の整理と実施計画の作成

情報発信・啓発	区ホームページ「ねりま景観まちづくり」の運営・保守、リニューアル 啓発動画（ねりま景観チャンネル）の企画・撮影・編集・公開 景観まち歩きイベント（高松）実施（2/18、19名参加）
景観整備機構としての取組	練馬区を研究対象とする大学等との連携および支援 景観調査研究発表会開催（3/24）

## （２）まちづくり事業の推進

### ① まちづくり啓発

#### 1) まちづくり講座の開催

区内でまちづくり活動を行う若者たちが、これからのまちづくりの関わり方について考える講演会とパネルディスカッションを行った。

開催日・場所	内 容	参加者数
2月4日 練馬区立区民・産業 プラザ研修室1	タイトル:「ワカモノまちづくり大懇談会 2023」 講師：三谷繭子 (株式会社 Groove Designs 代表取締役) パネラー： 富田淳 (【まちの実験室】 Neriba) 佐竹雄太 (ア라운드アーキテクチャ) 阿部健一/齋藤優衣(uni) 佐藤美幸 (けやきのいえ 妙) 市橋宗一郎 (はじまりの場所) 開催方法：会場参加およびオンライン配信	来場者数 30名  オンライン 視聴者 18名

#### 2) まちづくり活動助成事業

区民主体のまちづくり活動を支援し活性化することを目的に、活動助成を行った。

[たまご部門]

身近な生活空間の保全・改善・創造のためのまちづくりを始めるにあたっての活動に対する助成 (単位：円)

	団体名／活動提案名	助成金額
1	glamconnect+ ／サステイナブルなクリーンエコライフを提案したい	100,000
2	パークハイム氷川台2丁目管理組合みどりの会 ／プランターの緑を再生しホッとできる歩道に	100,000
3	花と緑の会有志 ／春の風公園街団地のみどりの再生	50,000
4	けやきのいえ 妙 TAE ／大きな樺の木が立つ南大泉のいえと庭を遊びつくそう！	100,000
5	ご近所さんプロジェクト ／おとなと子どもの「ご近所さん」作り	100,000
	計	450,000

[みどり・はばたき部門]

身近な生活空間や都市環境の保全・改善・創造につながり、成果が地域へ還元されることが期待できるまちづくり活動に対する助成 (単位：円)

	団体名／活動提案名	助成金額
1	南大泉農の風景育成地区実行委員会 ／南大泉 with 農フェスタ 2022 アートと農	250,000
2	越後山菜の花の会 ／美しい花壇づくりと菜の花のタネ配布で癒しを届ける活動	180,000
3	学園ひろばプロジェクトチーム ／私たちの学園ひろばを作り上げよう！	104,000
4	まちとみどりの実験室 ／石神井台3丁目集合住宅緑化プロジェクト	240,000
5	としまえん水と緑の公園で遊ぶ会 ／水と緑の遊びのアクティビティを通じて多世代を紡ぐ	240,000
6	川と水辺を楽しむプロジェクト ／「実践的 大人の自然体験塾」	240,000
計		1,254,000

3) まちづくり情報誌の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、地域やみどりをテーマにまちづくり情報誌「こもれび」を発行した。

規 格：タブロイド判カラー4ページ

発行回数：年3回（6月・10月・2月）

発行部数：各号20,000部

配置場所：区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局、特集地区内新聞折込等

発行号	発行月	内 容
第76号	6月	かくれたところに魅力がいっぱい！ 下石神井でツウな散歩
第77号	10月	"落ち葉さんぽ"で始めよう！ みどりのまちづくり
第78号	2月	南北になが〜い羽沢で まちのつくり探検！

4) ホームページ等による情報発信

「区民まちづくりを支援する制度」「まちづくりセンターの事業」「センター登録団体の情報」等のまちづくりに関する情報を、ホームページにより発信した。

② まちづくり相談

1) 窓口相談

個人のべ249名 団体のべ133団体

2) まちづくり登録団体支援

登録団体に対し、印刷機利用等の支援やプロジェクター等の貸出を行った。

登録団体数：170団体

利用団体数：のべ141団体



3) まちづくり交流事業

登録団体にイベント情報、まちづくり活動のスケジュールをチラシとともに郵送し、団体間の交流を促進した。また、メールアドレス登録者に対し、メールマガジンによりまちづくり情報を発信（毎月20日・年12回）した。

4) ライブラリー運営

まちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等を配架した「情報コーナー」を運営した。

5) 建築無料相談の後援

一般社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部が実施する建築無料相談事業（毎月第4月曜日）を後援した。

年間相談件数：59件

③ まちづくり条例に基づく大規模建築物等に係る専門家派遣

大規模建築物等の計画に関する周辺住民と事業者の話し合いに対して、専門家を派遣している。令和4年度は派遣に至る案件が発生しなかった。

④ まちづくり条例に基づく地区まちづくり協議会等の支援

1) 高野台5丁目中央地区住みよいまちづくりの会（総合型まちづくり協議会）

項目	内容
窓口対応業務	まちづくり憲章窓口説明：10回
団体支援	団体発行ニュースの作成支援：6回

2) 武蔵関・環境を守る会（総合型まちづくり協議会）

項目	内容
窓口対応業務	建築協定に関する窓口説明：15回 建築協定の申請窓口の代行：3回

⑤ 地区まちづくり活動支援

1) 大泉学園町地区

項目	内容	回数
茶話会の実施	まち歩きイベント「ちやい旅」の実施や、今後の自立した活動に関する話し合いを目的に、地域住民との茶話会を行った。	8回
ちやい旅 2022 春	大泉学園町の住民と来訪者が、庭を通じた交流を促進するためのイベントを行った。 (4月21日～24日、5月19日～22日)	マップ配布数 約1,500部

ちやい旅 2022 秋	大泉学園町の住民と来訪者が、庭を通じた交流を促進するためのイベントを行った。 (10月28日～30日)	マップ配布数 約 2,000 部
-------------	--	---------------------

## 2) 江古田駅周辺地区

江古田駅南口広場に整備された花壇について、旭丘一丁目町会および西武鉄道練馬駅管区との協働による維持管理活動を支援した。また、町会・日大芸術学部と連携して花壇に横断幕を設置し、江古田のまちをPRした。

## 3) 北町地区

「北町まちづくり協議会」の設立を支援した。公社自転車事業課との協働による「北町地区プロジェクト」を立ち上げ、協議会とともにまちの活性化と自転車適正利用を両輪とするまちづくりの展開に着手した。

## 4) 農の風景育成地区（高松・南大泉）

高松地区における農の風景を活かしたまちづくりを支援するとともに、区からの要請を受けて「高松みらいのはたけ」開園に向けた運営連絡会準備会に参加した。

南大泉地区においては、まちづくり活動助成事業の支援と併せて、公社自転車事業課と連携し、有志による「農フェスタ」の開催準備・実施を支援した。

## ⑥ 空家等地域貢献活用

空き家所有者や活用希望者からの相談対応、マッチング等を行い、合意成立2件、うち契約成立1件を達成した。また、区の空き家事業推進のための情報を発信した。

登録：空き家所有者3件 空き家活用希望者23件

相談：空き家所有者31件 空き家活用希望者99件

### <合意・契約成立案件>

場所・契約日	団体名	活用内容
南大泉地区 合意成立：6月20日 契約成立：7月13日	美術教室 get you	絵画教室や美術製作を通じた地域貢献
石神井台地区 合意成立：1月24日	NPO 法人 ハッピーひろば	障害福祉サービス事業、地域生活支援事業、相談情報ひろば事業等

### <空き家活用事業説明会>

開催日・場所	内 容	参加者数
8月13日 石神井公園区民交流センター	「空き家地域貢献事業」の説明とともに、専門家による空き家対策セミナーおよび個別相談会を行った。	セミナー 14名 個別相談会 9名

## ⑦ 防災まちづくりの推進

防災まちづくり推進地区（3地区）に指定された富士見台駅南側地区、下石神井地

区、田柄地区の取組を推進するため、ニュースの編集・印刷・配布、啓発イベントの企画検討・運営支援を行った。

<ニュース>

項目	内容
ニュースの内容検討、編集、印刷、配布	ニュースの発行：3地区2回合計 約 35,000 部

<啓発イベント>

「防災まちづくりキャラバン 2022—防まちキャラバンに参加して、防災について楽しく学ぼう！—」を3地区各3回開催した。

開催日・場所	内容	参加者数
8/6・11/20・2/25 富士見台駅南側地区	<防災クイズ> 地域防災について学べる動画を視聴してもらいながらクイズに回答 回答者には、防まち缶バッジを進呈	富士見台駅南側地区：389名 下石神井地区：514名 田柄地区：488名
7/30・11/27・3/11 下石神井地区	<その他> 延焼シミュレーション体験、助成金等の相談コーナーを設置	3地区合計：1,391名
7/23・12/3・3/19 田柄地区	消防署の協力による初期消火訓練、区民防災課の協力による防災グッズ紹介等	

⑧ 調査研究

市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査研究活動として、首都圏・名古屋市等の自治体・まちづくり団体が構成されている「市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議」に参加した。令和4年度は横浜市で開催され、情報交換や横浜市のまちづくり事例を視察した。

(3) その他事業

① 建築物のバリアフリー化協働推進

ユニバーサルデザインに関する相談、普及啓発、建築物のバリアフリー化推進等の事業を行った。

項目	内容
区民意見聴取事業	区立施設の改修、新設における区民モニターからの意見聴取 <意見聴取> 田柄中学校（田柄 3-3-1） 向山小学校（向山 2-14-11） ※田柄中学校と併せて実施 中村橋区民センター（貫井 1-9-1） 南高松の森緑地（高松 2-14）
店舗等のバリアフリー化普及展示	2/13～2/24 区役所2階東庁舎側通路 2/28～ 平和台駅地下通路の展示スペース

研修会	<区職員向け研修> 11/4 体験と実践で身につく 視覚障害者に配慮した環境整備の工夫 (参加者数 12 名) <一般向け講座 (ユニバーサルデザイン講座) > 9/4 だれもが出かけたくなるまちをつくるために…建築でできること みんなでできること (参加者数 24 名) <事業者向け研修> 第 1 回: 11/30 バリアフリー整備のツボがわかる! 事業者向けUD研修 体験で学ぶ基礎編 (参加者数 14 名) 第 2 回: 12/21 バリアフリー整備のツボがわかる! 事業者向けUD研修 事例から学ぶ 発展編 (参加者数 11 名)
-----	--

② みどりのまちづくりセンター運営協議会

センター事業の実施等について助言を行う機関である「みどりのまちづくりセンター運営協議会」をオンラインで開催した。

開催日・場所	内 容	出席委員
7月14日 公社会議室他	令和3年度みどりのまちづくりセンター事業報告 令和4年度みどりのまちづくりセンター事業計画 緑景観の心象評価調査結果	9名
1月18日 公社会議室他	令和4年度みどりのまちづくりセンター事業中間報告 調査研究機能の仕組みづくりの検討状況	9名

## 2 自転車等の適正利用に関する事業 [定款第4条第1項第4号]

### (1) 自転車駐車場・タウンサイクルの管理運営

① 区立有料自転車駐車場およびねりまタウンサイクル

指定管理者として、区立有料自転車駐車場、ねりまタウンサイクルの管理運営を行った。その中で、新たな利用者ニーズの把握のためにWebも活用した利用者アンケートを実施した(12月)。

<施設数・収容台数>

区 分	令和5年3月31日現在	令和4年3月31日現在	前年比増減
有料自転車駐車場	74 施設 38,429 台	73 施設 38,299 台	1 施設 130 台
(うち原動機付自転車)	(26 施設 655 台)	(26 施設 655 台)	(0 施設 0 台)
タウンサイクル	7 施設 2,700 台	7 施設 2,700 台	0 施設 0 台
合 計	81 施設 41,129 台	80 施設 40,999 台	1 施設 130 台

<新規開設・台数変更等施設(2施設)>

	施設名	収容台数	前年比増減
新規開設	氷川台駅第10	210 台	210 台
一部閉鎖	氷川台駅第1	642 台	△80 台
合 計			130 台

<施設利用率>

区 分	令和4年度	令和3年度	前年比増減
有料自転車駐車場	91%	88%	3ポイント
タウンサイクル	76%	81%	△5ポイント

<収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数 (人/月) (B)			一時利用人数 (人/日) (C)
		一般	学生	減免・免除	
有料自転車駐車場	38,429台	18,185人	5,401人	1,969人	9,523.5人
タウンサイクル	2,700台	1,503人	389人	119人	32.6人

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

② 公社立自転車駐車場

令和5年3月に石神井公園駅こぶし自転車駐車場を開設した。また、大泉学園駅さつき自転車駐車場の改修工事を行い、10台増設した。

<施設一覧>

	名称 (開設年月日)	施設概要
1	練馬駅つつじ (R1. 11. 1)	時間利用 収容台数：162台 8時間毎 100円 (最初の2時間は無料)
2	豊島園駅前 (H23. 11. 1)	時間利用 収容台数：99台 12時間毎 100円 (最初の2時間無料)
3	石神井公園駅東 (H26. 3. 1)	時間利用 収容台数：179台 (うち5台は原付) 12時間毎 100円 (最初の2時間は無料) (原付 12時間毎 200円 [最初の2時間は無料]) 定期利用 収容台数：685台 時間利用増設エリア 収容台数：124台 24時間毎 100円
	石神井公園駅東拡張 (R1. 6. 28)	時間利用 収容台数：40台 8時間毎 100円 (最初の2時間は無料)
4	石神井公園駅西 (H26. 3. 1)	時間利用 収容台数：308台 12時間毎 100円 (最初の2時間は無料) 定期利用 収容台数：564台
5	石神井公園ポート池東 (R3. 4. 1)	定期利用 収容台数：106台
6	石神井公園駅こぶし (R5. 3. 1)	時間利用 収容台数：74台 8時間毎 100円 (最初の2時間は無料)
7	氷川台駅さくら (H30. 5. 1)	時間利用 収容台数：165台 12時間毎 100円
8	大泉学園駅さつき (R3. 7. 16)	時間利用 収容台数：62台 8時間毎 100円 (最初の2時間は無料)
	合 計 8施設	2,568台 (うち原付 5台)

<施設利用率>

区 分	令和4年度	令和3年度	前年比増減
公社立有料自転車駐車場	113%	110%	3ポイント

<収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数 (人/月) (B)			一時利用人数 (人/日) (C)
		一般	学生	減免	
公社立有料 自転車駐車場	2,568台	1,049人	314人	108人	1,443.2人

※施設利用率 (B) + (C) / (A)

(2) 放置自転車対策事業

練馬区からの受託事業として放置自転車対策事業を行った。

撤去作業について、令和4年度から撤去隊1名減、撤去車両を1台減で対応した。

また、撤去業務と合わせて、各駅別の自転車等の乗り入れ台数について実態調査（5月、11月）を行った。

① 放置自転車等の撤去実績

区 分	令和4年度	令和3年度	前年比増減
自 転 車	4,764台	5,174台	△410台
原動機付自転車	54台	52台	2台
合 計	4,818台	5,226台	△408台

<放置率>

区 分	令和4年度	令和3年度	前年比増減
平日（午前）	1.3%	1.5%	△0.2ポイント
平日（午後）	2.4%	2.8%	△0.4ポイント

※放置率 放置自転車等台数 / 乗り入れ自転車等台数

※5月の乗り入れ台数調査データより

② 自転車集積所の管理運営（撤去自転車の保管・返還）

返還日時 毎日（年末年始を除く）、午前9時30分から午後5時30分まで

撤去手数料 自転車4,000円、50cc以下の原動機付自転車7,000円

保管期間 撤去日翌日から1か月間

<自転車集積所一覧>

施 設 名	所 在 地	開設年月日	収容可能台数
中村自転車集積所	中村一丁目9番14号	平成元年10月1日	2,100台
平和台自転車集積所	早宮二丁目18番35号	平成9年5月1日	1,000台
石神井台自転車集積所	石神井台三丁目17番16号	平成5年8月1日	1,000台

富士見台自転車集積所	富士見台三丁目 30 番 20 号	平成 17 年 10 月 1 日	3, 600 台
合 計		4 施設	7, 700 台

< 返還実績 >

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度	前年比増減
保管自転車等台数 (A)	4, 711 台	5, 084 台	△ 373 台
返還自転車等台数 (B)	2, 553 台	2, 798 台	△ 245 台
返 還 率	54. 2%	55. 0%	△ 0. 8ポイント

※返還率 (B) / (A)

※保管自転車等台数は、撤去台数から廃棄台数（使用できない自転車等）を減じた台数

③ 自転車駐車場への誘導・案内

放置自転車の抑制と自転車駐車場への誘導を目的に誘導員を配置した。令和 4 年度は、配置駅を 18 駅から 15 駅に見直した。2～3 時間で放置禁止区域内の重点エリア（放置自転車が多い場所）を巡回し、誘導案内業務を実施した。

平日 14 駅（江古田・練馬・中村橋・富士見台・練馬高野台・石神井公園・大泉学園・上石神井・武蔵関・東武練馬・氷川台・平和台・地下鉄赤塚・光が丘）

土日 14 駅（平日配置駅から東武練馬を除き豊島園を加える）

< 誘導員の配置実績 >

	令和 4 年度	令和 3 年度	前年比増減
延べ配置箇所	12, 949 箇所	17, 485 箇所	△ 4, 536 箇所
延べ時間数	36, 057 時間	48, 042 時間	△ 11, 985 時間

④ 放置自転車等の問い合わせ対応

自転車問い合わせセンターの運営

受付日時 毎日（年末年始を除く）、午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分まで

（ただし、土日祝は午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分まで）

< 内容および件数 >

区 分	令和 4 年度	令和 3 年度	前年比増減
即時撤去	2, 298 件	2, 259 件	39 件
赤札撤去	989 件	939 件	50 件
駐輪場案内	3, 286 件	2, 663 件	623 件
その他	42 件	47 件	△ 5 件
合 計	6, 615 件	5, 908 件	707 件

※即時撤去は、放置禁止区域内の放置自転車撤去に対する問い合わせ

※赤札撤去は、放置禁止区域外の放置自転車撤去に対する問い合わせ

### (3) 公社自主事業

#### ① 無料自転車駐車場の管理運営

練馬区との協定に基づき、公社の自主事業として無料自転車駐車場の管理運営を行った。

<施設数および収容台数>

区 分	令和5年3月31日現在	令和4年3月31日現在	前年比増減
無料自転車駐車場	5施設 1,019台	5施設 1,019台	0台
(うち原動機付自転車)	(1施設 14台)	(1施設 14台)	0台

#### ② 自転車対策地域協議会

区内鉄道駅周辺の商店会・町会等に対し、自転車を取り巻く地域の諸課題の解決を働きかけ、自ら課題を解決できる団体（自転車対策地域協議会）への活動支援および新たな団体設立に向けての支援を通じて自転車の適正利用を進めた。

#### ■ 自転車対策地域協議会

地域	活動等	
江古田	7月 10月 10～11月  11月  3月 月2～3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会合</li> <li>・ 南口花壇内に「放置自転車やめよう」横断幕を設置</li> <li>・ 地域イベント（江古田のまちの芸術祭）にて江古田駅自転車駐車場を展示スペースとして貸出</li> <li>・ 地域イベント（江古田のまちの芸術祭・えこだパンさんぽ）にてタウンサイクルを貸出</li> <li>・ 地域イベント（EKOTTO フェス）にて自転車利用マナーの啓発パネル展示</li> <li>・ 会合</li> <li>・ 南口広場の美化活動</li> </ul>
練馬	7～9月  3月 月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア団体主催のイベント・ニュース発行を通じて、自転車利用マナー等を啓発</li> <li>・ 啓発バナーの再掲出</li> <li>・ 駅周辺の清掃活動</li> </ul>
中村橋	—	—
石神井公園	5月 適宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常総会（縮小開催）</li> <li>・ 駅周辺の清掃活動</li> </ul>
北町 (東武練馬)	6月 10月 11月 12月  2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会設立</li> <li>・ 北町二丁目自転車駐車場の管理委託を開始</li> <li>・ 会合</li> <li>・ 北町二丁目自転車駐車場にてイルミネーションを実施</li> <li>・ 啓発グッズの作成・配布</li> <li>・ 会合</li> </ul>



## ■ 連携団体他

地域	活動等	
富士見台	1月	・デジタルサイネージの更新（富士見台本町通り商店会・富士見台商栄会）
南大泉 （保谷）	11月	・地域イベント「南大泉農フェスタ」にて自転車駐車場への誘導・案内を実施
	3月	・自転車交通安全に関する街頭ヒアリングを実施 ・「はじめての自転車ブック【南大泉編】」を発行

### （４）その他

#### ① 被災者へのタウンサイクル自転車の無償貸出

東日本大震災の被災者（区内在住者）に対して、タウンサイクル自転車の無償貸出を継続した。

貸出人数：5人

#### ② 自転車駐車場利用者サービス事業

非常災害時に飲料の無料提供が可能な飲料自動販売機を自転車駐車場に設置した。そのうち約半数の機器はデジタルサイネージ機能を搭載し、非常災害時の情報発信だけでなく天気予報、交通情報、地域情報の日常情報の発信を行っている。

その他、利用者からの要望により宅配ボックスの配備も行った。

<設置台数>

区 分	令和5年3月31日現在	令和4年3月31日現在	前年比増減
飲料用自動販売機	14施設 22台	14施設 16台	6台 2社導入
宅配ボックス	1台	1台	0台

### 3 資源循環の推進に関する事業〔定款第4条第1項第5号〕

公社は、循環型社会の形成に寄与することを目的に、平成22年4月から区内の家庭から排出される容器包装プラスチックの回収作業と粗大ごみの収集作業を区から受託している。平成22年11月からは、練馬区資源循環センター（以下「センター」という。）の管理運営を受託している。

令和4年度は、区民が粗大ごみ等を直接センターに持込みできる事業や粗大ごみの再利用事業、廃食用油の回収事業、区民・事業者等への普及啓発事業等、幅広い事業を引き続き行った。

また、令和4年2月に区がセンター東側に増築した不燃ごみ中継施設において、4月から不燃ごみ資源化事業を本格実施した。

#### （１）容器包装プラスチックの回収事業

区内の家庭等から排出される容器包装プラスチックを週6日（日曜日を除く）、資源・ごみ集積所から回収し、区が指定する中間処理施設へ搬入した。

＜容器包装プラスチック回収の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (t)	336.18	338.13	329.05	334.22	343.60	326.18	2,007.34
前年同月比	71.9%	69.0%	68.4%	66.6%	71.0%	67.6%	69.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (t)	321.56	315.10	333.58	334.57	289.50	333.85	3,935.50
前年同月比	70.4%	70.0%	69.8%	69.1%	68.1%	68.6%	69.2%

(2) 粗大ごみの収集事業

区民からの粗大ごみ受付センターへの申込みにより決定した収集日・排出場所で粗大ごみを収集し、区が指定する中間処理施設へ搬入した。

＜粗大ごみ収集の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量 (t)	558.69	558.04	520.73	516.14	494.29	507.12	3,155.01
収集件数	24,824	26,904	25,612	26,047	24,277	24,976	152,640
前年同月比	111.0%	92.0%	90.8%	85.7%	88.5%	93.3%	93.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量 (t)	524.18	537.34	497.11	468.84	445.93	553.92	6,182.33
収集件数	26,594	27,571	25,640	25,791	21,751	23,486	303,473
前年同月比	93.7%	94.4%	86.1%	91.4%	92.1%	96.9%	92.8%

※前年同月比は、収集量の比較

(3) センターの受託運営

区の資源循環推進の拠点であるセンターにおいて、以下の事業を行った。

① 粗大ごみ・資源の持込み事業

粗大ごみの、各戸収集や区民による持ち込みに対応した。また、古布・廃食用油等の拠点回収や、センター内に設置している回収ボックスから、小型家電、乾電池、紙パック、使用済みインクカートリッジを回収した。

＜粗大ごみ持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
持込量 (t)	51.56	55.24	55.80	47.01	44.61	49.80	304.02
持込件数	1,939	2,041	1,901	1,913	1,832	1,963	11,589
前年同月比	77.7%	90.9%	100.0%	89.6%	53.8%	93.7%	81.9%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持込量 (t)	50.78	46.64	45.15	44.79	46.04	58.99	596.41
持込件数	2,001	2,023	1,974	1,974	1,815	2,020	23,396
前年同月比	101.7%	96.5%	65.9%	96.2%	99.4%	102.7%	86.6%

※前年同月比は、持込量の比較

＜古布持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	6,190	8,070	4,120	4,580	2,900	3,640	29,500
前年同月比	114.6%	106.9%	75.5%	132.8%	71.4%	99.5%	99.7%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	6,400	4,420	5,320	3,270	3,880	3,780	56,570
前年同月比	120.1%	88.9%	90.0%	79.0%	104.3%	97.2%	98.3%

② 粗大ごみの再使用事業

粗大ごみの中から再使用が可能なものを、センターで簡易な修理や清掃を行い、区内4か所のリサイクルセンター（関町、春日町、豊玉、大泉）に提供した。

また、リサイクルセンターへ再使用家具を安定供給するための一時保管場所として不燃資源化施設2階倉庫の一部を活用した。

＜再使用の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
再使用 (点)	665	705	650	720	700	700	4,140
前年同月比	91.1%	113.2%	98.5%	114.3%	109.4%	112.2%	106.0%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
再使用 (点)	720	660	480	640	640	700	7,980
前年同月比	113.6%	103.1%	93.8%	103.2%	113.7%	116.1%	106.7%

③ 廃食用油の回収事業

区が拠点回収（44か所）した廃食用油を、中身と容器に分別・保管し、区が指定する資源化事業者へ引き渡した。

＜廃食用油持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	236.43	116.22	100.18	157.28	96.74	93.02	799.87
前年同月比	245.2%	80.3%	91.9%	183.8%	94.9%	55.0%	113.2%
区全体量 (kg)	1,488	1,588	1,648	1,087	1,158	1,486	8,455
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	101.64	74.46	126.14	78.40	93.40	80.54	1,354.45
前年同月比	59.1%	32.6%	77.3%	109.1%	100.6%	129.0%	90.5%
区全体量 (kg)	1,100	1,462	1,477	1,361	994	1,102	15,951

④ 金属類の資源化事業

粗大ごみから、鉄類・非鉄類・有害金属を分解・選別・保管し、区が指定する資源化事業者へ引き渡した。

区は、令和4年度からの不燃ごみの資源化事業開始に伴い、金属類の資源化事業の見直しを行い、令和4年2月以降は鉄類の回収を休止し、非鉄類・有害金属も回収規

模を縮小して行った。

<金属類の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
鉄類 (t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
非鉄類 (t)	1.07	1.03	1.18	0.84	1.18	1.00	6.30
有害金属 (t)	3.57	3.04	3.11	3.17	3.04	2.73	18.66
計	4.64	4.07	4.29	4.01	4.22	3.73	24.96
前年同月比	10.2%	8.1%	9.7%	9.0%	9.8%	8.1%	9.1%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鉄類 (t)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
非鉄類 (t)	1.22	1.19	1.03	1.14	0.89	0.79	12.56
有害金属 (t)	3.47	4.13	4.20	3.73	3.31	4.23	41.73
計	4.69	5.32	5.23	4.87	4.20	5.02	54.29
前年同月比	10.4%	11.3%	10.9%	11.5%	13.9%	112.1%	11.1%

※回収量は、当センターの分のみ

⑤ 蛍光灯等の資源化事業

不燃ごみとして収集した蛍光灯を、令和2年4月から分別・保管等し、区が指定する資源化事業者へ引き渡している。

また、令和4年3月に、センターヤード内にスプレー缶の減容処理機を設置し、4月から本格的な稼働を開始した。

<蛍光灯の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	2,400	2,600	3,370	2,250	2,660	1,760	15,040
前年同月比	124.4%	195.5%	139.8%	120.3%	152.9%	104.1%	137.1%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	2,550	4,260	3,050	3,960	3,230	3,050	35,140
前年同月比	184.8%	210.9%	136.2%	264.0%	239.3%	575.5%	175.8%

⑥ 小型家電製品の資源化事業

区内 16 か所に設置している小型家電製品の回収ボックスから、携帯電話を含む小型家電製品を品目毎 (13 品目) に選別し、区が指定する資源化事業者へ引き渡した。

<小型家電の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	21.20	29.98	19.40	5.86	28.64	21.62	126.70
前年同月比	101.4%	104.7%	75.3%	36.9%	129.0%	238.1%	103.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	26.06	18.04	15.56	40.06	17.00	12.78	256.20
前年同月比	325.8%	226.1%	168.0%	290.7%	118.2%	80.7%	133.6%

⑦ 資源循環の推進に関する相談および普及・啓発

センターに設置してある「見て学べる展示スペース」や太陽光発電等の環境配慮設備等を活用して、資源循環の推進に係る普及・啓発事業を実施した。

施設見学は、中学校生等の参加があり、新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながら実施した。

1) 相談コーナーの運営

清掃・リサイクルに関する相談を受けるとともに、資源循環に関する書籍等を収集し、区民に情報提供した。

2) 施設見学会の開催

センターは、区の循環型社会の形成をめざした施設と位置付けられており、区民、町会・自治会、小・中学生、保育園児等の施設見学を受け入れている。

<施設見学の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
団体数	1	0	0	0	1	4	6
団体人数	3	0	0	0	9	14	26
個人	0	2	0	0	0	0	2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	3	0	0	1	1	11
団体人数	0	32	0	0	3	5	66
個人	0	0	9	0	2	0	13

3) 環境学習講座の実施

小学生とその保護者を対象に、ごみの減量化や資源化についての意識啓発を図るため、小型家電のリサイクル工場バス見学会を開催した。

実施日：令和4年11月5日、参加者：27名（保護者13名、小学生14名）

⑧ 集団回収支援事業

集団回収は、町会・自治会等の団体が、自主的に資源を回収するリサイクル活動で、センターは活動団体を拡大するためのPRや団体と回収事業者間の調整、集団回収に必要な用具類の提供および回収実績の取りまとめ業務等を行った。

また、回収量に応じた報奨金が、半年ごとに区から資源回収活動団体に支給されるため、そのお知らせを8月と2月に発送した。

<集団回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新規登録団体数	1	0	0	0	0	1	2
廃止団体	3	1	0	0	0	1	5
総登録団体数	657	656	656	656	656	656	
回収量 (t)	750.4	749.2	774.3	651.4	677.1	692.5	4,294.9
前年同月比	89.9%	88.6%	101.4%	97.6%	97.5%	98.1%	95.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録団体数	1	0	0	0	0	0	1
廃止団体	1	1	0	0	0	0	2
総登録団体数	656	655	655	655	655	655	
回収量 (t)	686.4	706.9	855.9	617.7	694.8	644.3	8,500.9
前年同月比	95.5%	97.9%	99.2%	93.2%	94.1%	85.4%	94.8%

⑨ 生ごみ資源化支援事業

生ごみコンポスト化容器のあっせん受付を行ったが実績はなかった。

⑩ 大型生活用品情報掲示板事業

区民から申し込みのあった「譲ります」「譲ってください」の情報を一覧にした資料を作成し、区内 17 か所の情報掲示板に掲示した。

<「譲ります」の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
掲載件数	11	14	9	3	5	9	51
成立件数	3	4	4	0	1	4	16
成立率	27.3%	28.6%	44.4%	0.0%	20.0%	44.4%	31.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掲載件数	12	12	10	10	11	12	118
成立件数	9	6	7	7	4	6	55
成立率	75.0%	50.0%	70.0%	70.0%	36.4%	50.0%	46.6%

<「譲ってください」の実績（4月～3月）> 掲載9件 成立2件

⑪ 資源循環の推進に係る民間事業者等の支援・育成事業

集団回収を実施する予定の団体から要請があった場合には、現地で集団回収の説明を行った。また、回収事業者には集団回収できる品目（古紙、古布、缶等）を積極的に回収するよう協力要請を行った。

(4) 区民・事業者との協働の推進

循環型社会づくりを推進していくためには、区民や事業者との協働体制の構築が必要となる。公社は、公益財団法人としての性格を活かし、区と連携して、協働体制づくりに努めた。

4 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業〔定款第4条第1項第6号〕

公社は、公衆衛生の向上や環境保全を図るため、平成27年度から可燃ごみ・不燃ごみの収集業務の一部を区から受託している。令和3年4月から石神井分室の収集地域が拡大されることを受け、石神井分室を課組織（石神井事業所）へ改組した。

(1) 可燃ごみの収集事業

区内の家庭等から排出される可燃ごみを週6日（日曜日を除く）、資源・ごみ集積所か

ら収集して区が指定する清掃工場に搬入した。公社は、区の作業計画に基づき、収集計画の作成および収集作業を行った。

＜可燃ごみ収集の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量 (t)	4,940.83	5,218.79	4,923.03	4,825.80	5,055.66	4,758.78	29,722.89
区全体量 (t)	9,771.62	10,268.01	9,696.88	9,531.18	9,980.06	9,398.98	58,646.73
公社収集比率	50.6%	50.8%	50.8%	50.6%	50.7%	50.6%	50.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量 (t)	4,821.29	4,833.39	5,060.55	4,826.32	4,016.67	4,763.60	58,044.71
区全体量 (t)	9,521.69	9,564.02	10,021.12	9,585.04	7,995.35	9,484.79	114,818.74
公社収集比率	50.6%	50.5%	50.5%	50.4%	50.2%	50.2%	50.6%

(2) 不燃ごみの収集事業

区内の家庭等から排出される不燃ごみを区西部地域は週6日(月曜～土曜日)、資源・ごみ集積所から収集し、区が指定する中間処理施設に搬入した。公社は、区の作業計画に基づき、収集計画の作成および収集作業を行った。

＜不燃ごみ収集の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量 (t)	121.25	136.08	119.43	109.19	115.79	119.91	721.65
区全体量 (t)	250.86	271.51	234.78	207.52	219.34	225.37	1,409.38
公社収集比率	48.3%	50.1%	50.9%	52.6%	52.8%	53.2%	51.2%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量 (t)	119.78	112.60	135.02	119.58	114.26	107.22	1,430.11
区全体量 (t)	223.80	209.75	255.67	229.40	203.36	192.12	2,723.48
公社収集比率	53.5%	53.7%	52.8%	52.1%	56.2%	55.8%	52.5%

(3) 収集拠点の運営

可燃ごみ・不燃ごみの収集拠点として、区東部地域は桜台事業所を、区西部地域は石神井事業所(石神井清掃事務所4階)を利用し、その機能維持に努めるとともに、事業拡大等の新たな展開に対応できるように、区と連携を図りながら3拠点(センター・石神井・桜台)の業務分担の再編に取り組んだ。

(4) 不燃ごみの資源化事業

区がセンター東側に建設していた不燃ごみの資源化施設が完成し、令和4年2月から、施設管理と事業運営を受託した。区の協力を得て、4月から本格的に不燃ごみの資源化事業を開始した。

## 5 地球温暖化の防止対策に関する事業〔定款第4条第1項第7号〕

公社は、区から練馬区地球温暖化対策地域協議会（愛称は「ねり☆エコ」。以下「協議会」という。）の事務局運營業務を受託し、運営に当たった。

### （1）令和4年度の事業

#### ① 環境イベントの開催

##### 1) 夏休み！ねりま環境まなびフェスタ

小・中学生とその保護者を対象に、エネルギーを作る実験やリサイクル体験、生きものとの触れ合い・観察等、環境について楽しく学び、夏休みの自由研究のヒントとなる体験型のイベントを初めて開催した。会場ではスタンプラリーや自由研究相談コーナー、第11回こどもエコ・コンクール入賞作品展示、マスコットキャラクターとの記念撮影等も行った。

日時：令和4年7月30日（土）10時～16時

会場：ココネリ3階

出展・協賛団体数：27団体

来場者数：約1,000名

##### 2) 練馬まつり

「たのしく学ぼう！地球温暖化対策」をテーマに、冬の省エネ対策として暖房器具の効果的な使い方の模型による紹介、ソーラーパネルを使った蓄電池の展示、省エネクイズ、地球温暖化についてのパネル展示、記念品等の配布を行った。

日時：令和4年10月16日（日）10時～15時

会場：南町小学校

ねり☆エコブース来場者数：約1,300名

##### 3) スタート！エコライフ2023

節電・省エネ等、地球温暖化対策を家庭から実践するためのヒントについて、協議会会員団体・協力団体がパネル展示やパンフレットの配布等により紹介した。

日時：令和5年2月4日（土）～14日（火）8時45分～20時

会場：練馬区役所本庁舎アトリウム

出展団体数：17団体

来場者数：約3,650名

#### ② 区民向け講演会・講習会

##### 1) 体験型講座

「夏休み！ねりま環境まなびフェスタ」と同時開催で実施した。小学校4年生以上とその保護者を対象に、食と地球温暖化の関係について、講師による解説に加え、グループでの買い物ゲーム、ワークシートへの記入等の体験を通して理解を深めた。

日時：令和4年7月30日（土）10時～12時

会場：ココネリ3階 研修室1



テーマ：「ゲームで学ぼう！私たちの食べ物と地球温暖化のつながり」  
講師：近藤 恵津子（NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長）  
参加者：18組 42名

## 2) 事業者向け支援策の周知

東京商工会議所練馬支部の役員会・評議員会の会場で、区内事業者向けに、温室効果ガスの発生削減に協力していただくことを目的として、「都・区の省エネルギー支援策等」の周知を行った。

日時：令和5年2月21日（火）11時30分～11時40分  
会場：ココネリ3階 ココネリホール  
参加者：約200名

## ③ 青少年向け啓発事業

### 1) こどもエコ・コンクール（第12回）

小学校3年生から中学校2年生までを対象に、環境をテーマとした絵画作品を募集した。入賞作品はじめ、寄せられた作品の一部を練馬区役所アトリウム等で展示した。さらに、第11回の作品について、区立図書館6館や平和台駅地下連絡通路、イベント会場で展示した。

募集期間：令和4年7月21日（木）～9月8日（木）  
応募数：2,949件（小学生655件、中学生2,294件）  
アトリウム展示：令和4年12月22日（木）～令和5年1月5日（木）  
図書館等展示：図書館（光が丘、大泉、南大泉分室、貫井、南田中、春日町）、平和台駅地下連絡通路、夏休み！ねりま環境まなびフェスタ、スタート！エコライフ2023

### 2) ねりねこ☆多ねりこん vv が行く（着ぐるみ派遣）

マスコットキャラクター「ねりねこ☆多」「ねりこん vv」を各種イベント等に派遣し、地球温暖化対策のPR活動を行った。

夏休み！ねりま環境まなびフェスタ：令和4年7月30日（土）  
練馬まつり：令和4年10月16日（日）

## ④ 地球温暖化対策の調査・区民支援事業

子育て・働き盛り世代への啓発を強化するため、ねり☆エコホームページ内特設ページのコンテンツを増設した。また、ホームページを周知するためのチラシを区内小中学校の全児童・生徒や公共施設に配布した。

### 1) ねり☆エコ e-ラーニング

令和3年度に制作した大人向けコースを再編して、ねり☆エコ地球温暖化クイズ「基礎知識編」と「おうちのエコ編」に分け、それぞれの設問を増設した。また、既存コースの更新を行った。

## 2) ねりまのエコ暮らし帳

居住空間に合わせた省エネのコツや、地域のエコな取組の紹介等、子育て・働き盛り世代が自らアクションを起こすきっかけとなるようなコンテンツを増設した。

- ・キッチン編「料理の下ごしらえや仕上げには、電子レンジがおすすめ」
- ・リビング編「石油・ガスファンヒーター お部屋を出る前に早めのOFFを！」
- ・お風呂編「いろいろな高効率給湯器」
- ・トイレ編「温水洗浄便座 セルフ安全チェックと省エネ性能チェック！」
- ・建物編「いろいろな屋根と太陽光パネル」
- ・ミニコーナー「家庭の太陽光発電で余った電気を東京都へ『とちょう電力プラン』」、「省エネ家電選びのナビゲーター『統一省エネラベル』」
- ・エコまちねりま（エコな地域活動等の紹介）「より楽しく！より深く！五感で自然を体験できる公園（練馬区立中里郷土の森緑地）」、「持続可能な社会の実現へ、食品スーパーとしてできること（(株)ライフコーポレーション）」

## 3) ねり☆エコ動画

「エアコンの省エネ対策」について、「ねりまのエコ暮らし帳」の記事を元に「冷房編」、「暖房編」、「室外機編」3本の動画を制作した。

## 4) エコ語り

「一般社団法人 東京都建築士事務所協会 練馬支部」を取材し、エコな活動や取組を紹介した。

## ⑤ 広報業務

### 1) ねり☆エコホームページの運営

地球温暖化対策や協議会の活動等について、ホームページを随時更新した。

閲覧数：114,174件（前年度161,611件）

更新回数：68回

### 2) メールマガジン・ダイレクトメールによる事業周知

地球温暖化に関するニュースや協議会の事業についてメールマガジンを配信した。

メールマガジン登録数：286件（前年度283件）

メールマガジン配信回数：5回

## ⑥ 運営業務

### 1) 協議会の各種会議運営業務

総会1回、役員会3回、事業部会4回、担当委員会議6回

### 2) 協議会の窓口業務

協議会や会員が行う事業の出展者・出演者との連絡・折衝等、協議会に関する報道機関対応、相談・問い合わせ対応等

## 事業報告の附属明細書

公益財団法人練馬区環境まちづくり公社定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に包含して掲載しているため、作成しない。

## I 評議員会および理事会の開催状況

定款第 17 条および第 30 条の規定に基づき、令和 4 年度に開催した評議員会および理事会はつぎのとおりである。各案件について決議した。

### 1 評議員会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第 1 回 文 書 による 同 意	令和 4 年 4 月 1 日 (金)	議案第 1 号 理事の選任について 議案第 2 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常務理事の令和 4 年度報酬月額および支給賞与額について
第 2 回	令和 4 年 6 月 13 日 (月) 出席評議員 7 名 出席監事 2 名	議案第 3 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社令和 3 年度事業報告について 議案第 4 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社令和 3 年度決算について 報告第 1 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社中期経営計画令和 3 年度取組達成状況の自己評価について 報告第 2 号 規則等の制定および一部改正について
第 3 回	令和 5 年 3 月 14 日 (火) 出席評議員 6 名	議案第 5 号 理事の選任について 議案第 6 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤理事の令和 5 年度報酬月額および支給賞与額について 報告第 3 号 令和 5 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 報告第 4 号 令和 5 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 報告第 5 号 令和 5 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社予算ならびに資金調達および設備投資の見込み 報告第 6 号 中期経営計画の一部改定（計画期間延長）について 報告第 7 号 基準の改正について

## 2 理事会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第1回 文書 による 同意	令和4年4月1日(金)	議案第1号 常務理事の選定について
第2回	令和4年5月27日(金) 出席理事 12名 監事 2名	議案第2号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 令和3年度事業報告について 議案第3号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 令和3年度決算について 報告第1号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 中期経営計画令和3年度取組達成状況の 自己評価について 報告第2号 基準等の制定および一部改正について 報告第3号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告に ついて
第3回	令和4年11月11日(金) 出席理事 13名 監事 2名	議案第4号 評議員会の開催について 報告第4号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告に ついて 報告第5号 令和4年度上半期事業執行状況について 報告第6号 令和4年度上半期予算執行状況について 報告第7号 基準の改正について 報告第8号 現行中期経営計画の計画期間の変更につ いて
第4回	令和5年3月14日(火) 出席理事 12名 監事 2名	議案第5号 令和5年度公益財団法人練馬区環境まち づくり公社事業運営方針 議案第6号 令和5年度公益財団法人練馬区環境まち づくり公社事業計画 議案第7号 令和5年度公益財団法人練馬区環境まち づくり公社予算ならびに資金調達および 設備投資の見込み 議案第8号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社 社員給与規程の一部改正について 議案第9号 評議員会の開催について 報告第9号 中期経営計画の一部改定(計画期間延 長)について 報告第10号 基準の改正について

## Ⅱ 評 議 員 名 簿

令和5年3月31日現在

役 職 名	氏 名
評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員	井 口 薫 石 塚 康 夫 秋 山 勉 高 橋 利 充 猪 飼 昭 彦 植 田 敏 裕 市 村 保

### Ⅲ 役員名簿

令和5年3月31日現在

役職名		常・非	氏名
理事	理事長	常勤	黒田 叔孝
	常務理事	常勤	中村 啓一
	常務理事	常勤	藤田 光威
	理事	常勤	乾 嘉行
	理事	非常勤	小川 善昭
	理事	非常勤	三宅 泉
	理事	非常勤	横倉 尚郎
	理事	非常勤	高橋 司
	理事	非常勤	市川 哲也
	理事	非常勤	竹内 健
	理事	非常勤	大澤 琢朗
	理事	非常勤	早井 和彦
	理事	非常勤	鈴木 正明
理事	非常勤	金沢 景一	
監事	監事	非常勤	本橋 清彦
	監事	非常勤	近藤 雅彦